

数学A 第1章 総まとめテスト (場合の数・確率2)

No.1

年 組 番 氏名

1 8人を次のように分けるとき、分け方は何通りあるか。

(1) 8人を3人、3人、2人の3つの組に分ける。

$$\frac{8C_3 \times 5C_3}{2!} = \frac{56 \times 10}{2} = 280 \text{ 通り}$$

(2) 8人を3つの部屋A, B, Cに入れる。ただし、空の部屋があってもよい。

$$3^8 = 81 \times 81 = 6561 \text{ 通り}$$

(3) 8人を3つの部屋A, B, Cのうち、2部屋にだけ入れる。

$$3C_2 \times (2^8 - 2) = 3 \times 254 = 762 \text{ 通り}$$

(4) 8人を3つの組に分ける。

$$\frac{3^8 - 3C_2 \times (2^8 - 2) - 3C_1}{3!}$$

$$= \frac{6561 - 762 - 3}{6} = \frac{5796}{6}$$

$$= 966 \text{ 通り}$$

2 1個のさいころを4回投げるとき、次の確率を求めよ。

(1) 出る目の最大値が5以下

$$\left(\frac{5}{6}\right)^4 = \frac{625}{1296}$$

(2) 出る目の最大値が5

$$\begin{aligned} \left(\frac{5}{6}\right)^4 - \left(\frac{4}{6}\right)^4 &= \frac{625 - 256}{1296} = \frac{369}{1296} \\ &= \frac{41}{144} \end{aligned}$$

(3) 出る目の最大値が5以下、最小値が2以上

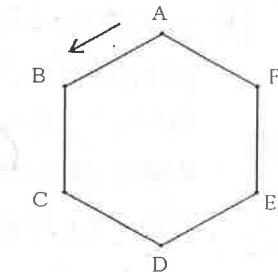
$$\left(\frac{4}{6}\right)^4 = \left(\frac{2}{3}\right)^4 = \frac{16}{81}$$

(4) 出る目の最大値が5、最小値が2

(3) から、出る目の最大値が5以下、最小値が3以上
 もしくは 出る目の最大値が4以下、最小値が2以上
 の確率を引けばいい。

$$\begin{aligned} &\left(\frac{4}{6}\right)^4 - \left\{ \left(\frac{3}{6}\right)^4 + \left(\frac{3}{6}\right)^4 - \left(\frac{2}{6}\right)^4 \right\} \\ &= \frac{256}{1296} - \frac{81 + 81 - 16}{1296} \\ &= \frac{256}{1296} - \frac{146}{1296} = \frac{110}{1296} = \frac{55}{648} \end{aligned}$$

3 右の図のような正六角形ABCDEFの辺上を動く点Pが、最初は頂点Aの位置にある。さいころを1回投げて、出た目の数だけ点Pが正六角形の边上を反時計回りに進む。このとき、次の確率を求めよ。



(1) さいころを2回投げた後、点Pが頂点Aにある確率

2周目場合 ... (6, 6)

1周目場合 ... (5, 1), (4, 2), (3, 3), (2, 4), (1, 5)

$$\text{よし. } \frac{6}{36} = \frac{1}{6}$$

(2) さいころを2回投げた後、点Pが頂点Cにある確率

はじめ点Cに到達する場合

$$(1, 1)$$

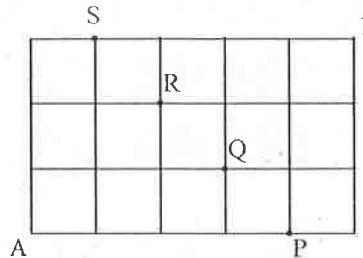
1周目か2周目に到達する場合

$$(6, 2), (5, 3), (4, 4), (3, 5), (2, 6)$$

$$\text{よし. } \frac{6}{36} = \frac{1}{6}$$

- 4 右下の図のような格子状の道がある。 a , b の2人がいて、 a はA地点からB地点へ向かって、 b はB地点からA地点へ向かって、それぞれ最短の経路を通り、1分間に道路1区画の速さで進むとする。 a , b ともに交差点で東西方向、南北方向どちらの道を進むかは、どちらも $\frac{1}{2}$ の確率で決め、T字路や曲がり角では進める方向にのみ進むものとする。

(1) a が地点P, Q, R, Sを通る確率をそれぞれ求めよ。



$$\text{地点P: } \left(\frac{1}{2}\right)^4 = \frac{1}{16}$$

$$\text{地点Q: } C_1 \left(\frac{1}{2}\right)^4 = \frac{4}{16} = \frac{1}{4}$$

$$\text{地点R: } C_2 \left(\frac{1}{2}\right)^4 = \frac{6}{16} = \frac{3}{8}$$

$$\text{地点S: } C_3 \left(\frac{1}{2}\right)^4 + \left(\frac{1}{2}\right)^4 = \frac{4}{16} + \frac{1}{16} = \frac{5}{16}$$

(2) a , b が途中で会う確率を求めよ。

b が地点P, Q, R, Sを通る確率は

$$\text{地点P: } \frac{5}{16}, \text{ 地点Q: } \frac{6}{16}, \text{ 地点R: } \frac{4}{16},$$

$$\text{地点S: } \frac{1}{16} \text{ である。}$$

a , b が途中で会う確率は

$$\frac{1}{16} \times \frac{5}{16} + \frac{4}{16} \times \frac{6}{16} + \frac{6}{16} \times \frac{4}{16} + \frac{5}{16} \times \frac{1}{16}$$

$$= \frac{5+24+24+5}{256} = \frac{58}{256}$$

$$= \frac{29}{128}$$

- 5 5回に1回の割合で帽子を忘れるくせのあるK君が、正月にA, B, C 3軒を順に年始回りをして家に帰ったとき、帽子を忘れてきたことに気がついた。2軒目の家Bに忘れてきた確率を求めよ。 (76 早稲田大)

$$A \text{に忘れる: } \frac{1}{5}$$

$$B \text{に忘れる: } \frac{4}{5} \times \frac{1}{5} = \frac{4}{25}$$

$$C \text{に忘れる: } \frac{4}{5} \times \frac{4}{5} \times \frac{1}{5} = \frac{16}{125} \text{ すなはち}$$

帽子を忘れて家に帰る確率は、

$$\frac{1}{5} + \frac{4}{25} + \frac{16}{125} = \frac{25+20+16}{125} = \frac{61}{125}$$

よし、Bに忘れての条件付確率は、

$$\frac{\frac{4}{25}}{\frac{1}{5} + \frac{4}{25} + \frac{16}{125}} = \frac{\frac{20}{125}}{25+20+16} = \frac{20}{61}$$

- 6 ある病原菌の感染を診断する検査で、病原菌に感染している人が陽性と判定される確率は80%，病原菌に感染していない人が陰性と判定される確率は90%である。全体の5%がこの病原菌に感染している集団から1人を選びだすとき、次の確率を求めよ。 (16 宮崎大 改)

(1) 選びだされた1人が陽性と判定されたとき、この人が実際にも病原菌に感染している確率

陽性と判定される確率は

$$\frac{5}{100} \times \frac{80}{100} + \frac{95}{100} \times \frac{10}{100} = \frac{135}{1000}$$

陽性と判定された人が実際に感染している条件付確率は、

$$\frac{\frac{5}{100} \times \frac{80}{100}}{\frac{5}{100} \times \frac{80}{100} + \frac{95}{100} \times \frac{10}{100}} = \frac{40}{40+95} = \frac{40}{135} = \frac{8}{27}$$

(2) 選びだされた1人が陰性と判定されたとき、この人が実際にも病原菌に感染している確率

陰性と判定される確率は

$$\frac{5}{100} \times \frac{20}{100} + \frac{95}{100} \times \frac{90}{100} = \frac{865}{1000}$$

陰性と判定された人が実際に感染している条件付確率は、

$$\frac{\frac{5}{100} \times \frac{20}{100}}{\frac{5}{100} \times \frac{20}{100} + \frac{95}{100} \times \frac{90}{100}} = \frac{10}{10+855} = \frac{10}{865} = \frac{2}{173}$$